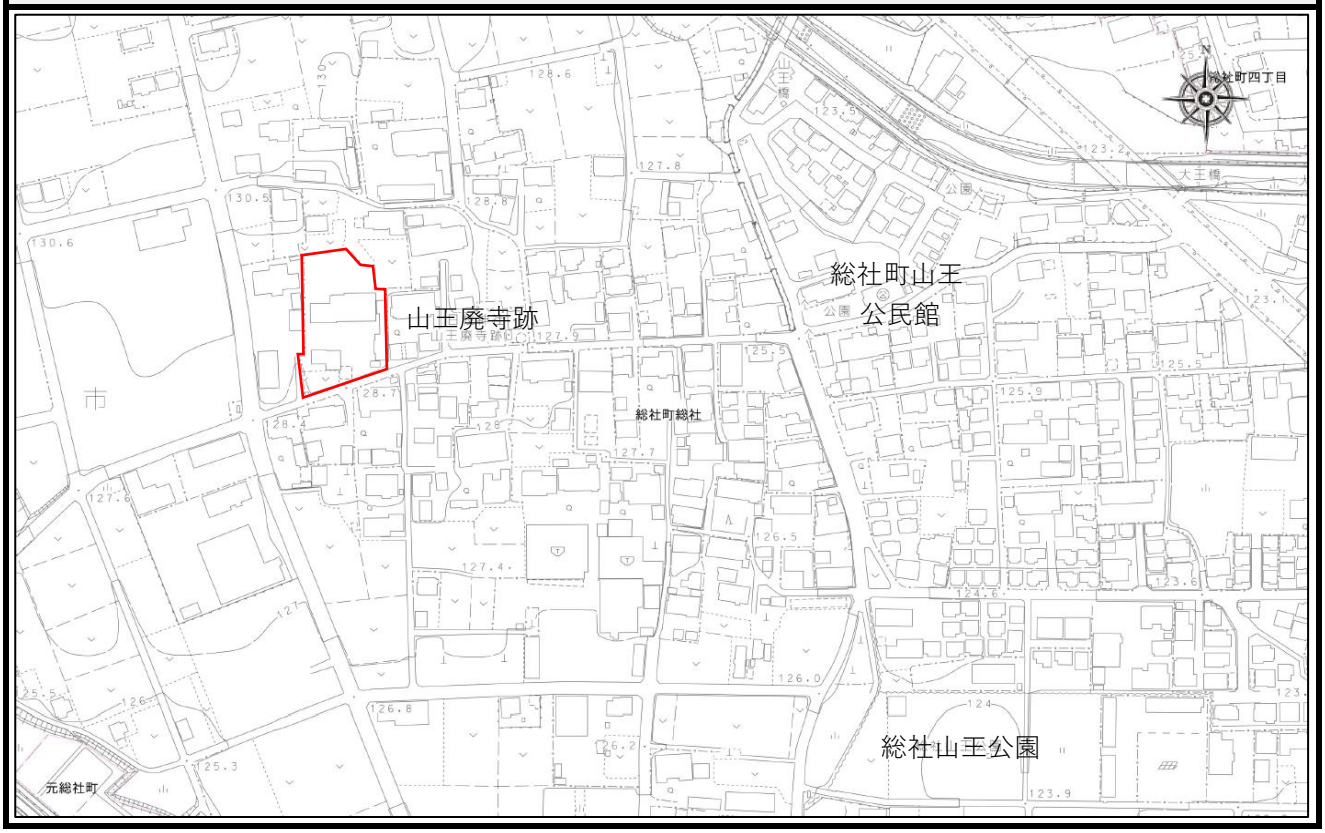
歴史的風致形成建造物概要

指定番号	3	
指定年月日	令和7年1月14日	
重点区域	総社及び総社山王地区	
名称	都丸耕治家（主屋）	
所在地	総社町総社2414番地ほか	
内容	嘉永7年に旧長岡村から移築（当初建造年代は不明）された総社山王地区内で最古の養蚕農家とされ、昭和44年まで養蚕業を営んでいた。「テンソウ」（天窓）が設けられ、2階軒は船枻造り、2階床は出梁造り、養蚕時に使用されたケヤキ製の桑上げ用滑車が残され、養蚕農家の特徴が随所に見られる。主屋以外に土蔵や井戸屋形、表門等が配置されることで、養蚕農家の屋敷構えが見られる。外観は一部改修されているが、養蚕農家が持つ歴史的風致を保つ改修が施されている。	
建造物について		
建造年	19世紀中期（文書によると嘉永7年（1854年））移築	
構造	木造２階建	
用途	養蚕農家	
外装仕上げ	屋根	日本瓦
	外壁	リシン吹付（当初は漆喰（真壁））
特筆すべき附属建物等	倉庫（土蔵）、物置、便所、物置（旧穀蔵）、井戸屋形、表門、塀、イトヒバ	

案内図